

極秘

濱師離主第六之號

戦用品(庖厨品)非違事件ニ関スル件報告書

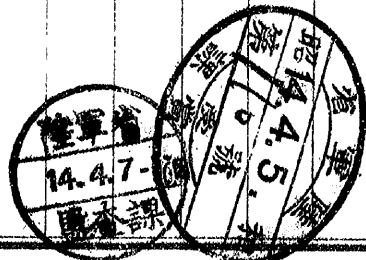
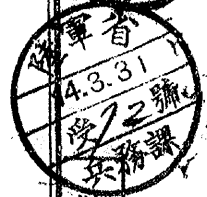
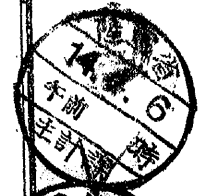
昭和十四年三月二十二日 第百四師團長濱本喜三郎

陸軍大臣 板垣征四郎殿

歩兵第百八聯隊ニ於テ別紙ノ通り、戦用品(庖厨品)

ニ関スル非違事件發生セシニ付報告ス

二五九



B 列五號

戦用品(食厨品)搬運事件調査

一、被害ノ日時及場所

昭和十三年十一月一日

歩兵第百八聯隊第三大隊本部

二、被害品目及金額

憲兵ノ調査ニ依リ被害品目及數量ハ左ノ如クニシテ
此ノ見込金額合計五〇〇圓トナルモ當部ノ計算ニ
依リ六二八圓餘アリ(十三年度関東倉庫ノ指定價格ニ依リ)

砂糖 五〇斤入 一ニ袋

白絞油 一八五入 八罐

醤油 " 二〇樽

味噌 一五斤入 二五樽

ソース 一五斤入 四罐

三、被害ノ原因タル事實ノ狀況

陸

軍

1. 當師團ハ張鼓峯事件ニ際シ八月中旬ヨリ十月
 上旬ニ亘リ東滿ニ駐留セシ當時歩兵第百八聯隊
 第二大隊ハ八月十六日ヨリ十月二日遼陽島省延
 吉街滿州國軍南兵營ニ分屯セリ
 2. 師團ハ九月上旬南支出勤ノ命ヲ受ケ大連ニ集
 結スルコトナリ同隊モ十月二日延吉出發大連ニ向ヘリ
 3. 當時同隊ノ炊事係タリシ步兵營長(當時軍曹)
 [Redacted] ハ量出品ト認メラル、斯項記載ノ庖
 厨諸品アリタルヲ上官ノ命ニ依ラス独斷ヲ以テ十月
 一日同地出入商人タリシ矢野勝ニ之ヲ與ヘ處置セ
 シメタリ
 4. 當地江西憲兵分隊長ノ報告ニ依シ十月一日午後
 ハ崎頂新記矢野勝未隊ニ謝禮ノ意ヲ以テ滿
 州國幣二百五十圓提出セルヲ炊事係ノ職ニアル

B 列四號

曹長之ヲ受領セリト

又同憲兵ノ報告ニ依リハ右金圓ヲ返還スルヲ保管
ニ居タルモ部隊移動ノ為メ多忙ニ紛レ其機ヲ失シ
今尚保管ニアル狀況ニテ故意ニ私腹ヲ肥サントスル
意志ナク發覺後ハ只管謹慎ノ意ヲ表シ返還ヲ
企圖ニアリト

6. 延吉憲兵隊長ノ調査ニ依リハ矢野勝ハ前託庵厨
品全部ヲニユ。圓ニテ拂下ヲ受ケタルモノナリト稱シ
居ル由ナリ

四 被害當時前後ノ事情

一 師團ノ東滿駐留時ハ降雨頗ル多ク數十年來稀
ナル大水害ヲ生シタル際トテ同部隊ノ訓練モ意心ノ
如ク行ハリス為メニ將兵ノ食慾不振アリシト
カ炊事兵ノ監督指導適切ヲ欠キ且ツ事務ノ不

陸軍

馴トニ依リ十月二日同隊出發新日ニ於テハ前記量
出品ヲ生シアリシモノト考ヘラル

又當婦「荷物ヲ多量携行スル軍隊ハ弱シトノ歴戰
者ノ經驗談モアリ師團ニ於テモ嚴重ニ定數外荷物
ノ携行ヲ制限セシテ以テ右庖厨品ヲ上可ニ報告シ
テ規定外トシテ追加携行スルノ處処置ニホルヲ躊躇
セシモノ、如シ

3. 收受セシハ滿州國幣ニ五〇圓ニテ取調ノ結果軍
票ニ五〇圓ナリニハ大連出發ニ當リ將校以下携帶
ノ國幣及鮮銀券ハ再三注意ニテ交換セシメタルヲ
以テ其際共ニ交換セシモノ、如シ

五、被害發見ノ動機

延吉街ニ矢野勝カ賣出シタル前記庖厨品ニ關シ
同地憲兵分隊ヨリ事實調査方波集團憲

B 列四號

陸軍

兵隊長ニ照會アリテ江西憲兵分隊ニ於テ捜査
セシ結果ニ依ル

六平素ニ於ケル糧食品保管出納ノ状況

糧食諸品取扱ハ炊事係下士官ニシテ

之ニ當ラシメタルモ戰用品保管者タル同隊附主計少

尉深田亮一ハ婦々之ヲ検査ニ届タリ然レトモ召集直

後ニテ金錢其他事務ニ忙殺セラレ帳簿ト現品ト適

確ナル検査ヲ爲シ得サリシ爲量出品ニ氣付カサリ

ニモトス

七、被害ニ對スル處置

師團經理部長ハ自三月十五日
至三月十九日ノ予定ヲ以テ歩兵第

百七旅團部隊經理検査中憲兵ノ通牒ニ依ル被

害ノ報告ニ接シタルヲ以テ十六日經理部長ヲニテ嚴

密ナル検査ヲ實施セシタリ

又曹長ハ江西憲兵分隊ニ於テ搜查處分ヲ
爲シ三月十六日第二軍軍法會議檢察官ニ一件
記録ヲ送致セシニ依リ同曹長ハ所屬隊ニ於テ
謹慎セシメアリ

八、責任者ノ處分

大隊長歩兵中佐林兼珍ハ三月九日發令靜岡
聯隊區司令部部員ニ轉補セラレタルヲ以テ直ニ
モ後任者着任迄依然其事務ヲ取扱中ナルヲ以
テ直ニ聯隊長ニ於テ輕謹慎ニシテ處分ス

其他ハ軍法會議ノ起訴狀次ニ依リテ處分ス
九、其他必要ナル事項

被害ノ狀況ヲ團下各部隊長ニ通達シ
昭和十三年十一月陸支密第四八八號ニ依リ訓
示、團隊長會議、經理會議ニ於ケル本職訓示

B 列四號

陸軍

参謀長口演並に經理部長ノ指導ニ應ズル關係書
 類ヲ更ニ熟讀シ最ニ其主目ヲ弁リ再ニ此ノ如キ失
 態ナカラシムルニヨリ要求セシ外務部隊經理部
 將校ヲ師團司令部ニ集合師團經理部長
 ヲニテ此ヲ訓示ノ説示ト共ニ師團ノ名譽ニ掛ケ
 テ經理事故絶滅ヲ要望セシメタリ

支番 二八五五

濱師經主第九七號

非違行為審理ノ結果ニ関スル件報告

昭和十四年四月二十日 第百四師團長濱本喜三郎

陸軍大臣板垣征四郎殿

去ル三月二十二日濱師經主第六五號ヲ以テ報告セシ歩

兵第百八聯隊第二大隊本部歩兵曹長

係ル非違事件ニ付審理ノ結果及處置左記

通り報告ス

左記

一 曹長ハ四月八日第二十一軍々法會議ニ

於テ別紙寫ノ通り判決ヲ受ケ同日失官

ナリ

二 所屬部隊長ハ主計少尉深田亮一ヲ本件

直接ノ責任者トシテ四月九日重謹慎五日



ニ處ス

第二大隊長ニ對スル處罰ハ前報告ノ通リトス

三

曹長ノ横領セシニ五〇圓ハ深田少尉

ニ其儘提出セシノ不取敢同少尉ニ於テ保

管ス

昭和十三年十一月

陸軍

判決

大阪府大阪市東淀川区長柄中通四丁目五十番地 戸主 竹細工商

歩兵第百八聯隊第二大隊本部

後備役陸軍歩兵曹長

明治三十四年六月十五日生

右ノ者ニ對スル業務上横領被告事件ニ付當軍法會議ハ檢察官陸軍法務官樋口俊美干與審理ヲ遂ケ判決スルコト左ノ如シ

主文

被告人ヲ懲役六月ニ處ス

但シ二年間右刑ノ執行ヲ猶豫ス

理由

被告人ハ昭和十三年六月二十二日充員召集ニ依リ

歩兵第八聯隊留守隊ニ應召入隊シ昭和十四
 年一月二十日歩兵曹長ニ進級シタル者ナル
 トコロ曩ニ肩書部隊ト共ニ滿洲國間島省
 延吉ニ駐屯シ給與係下士官トシテ陸軍主計
 少尉深田亮一ノ命ヲ承ケ諸般ノ炊事業務ニ
 服シ炊事用糧食品等保管ノ業務ヲモ担任
 シ居タルカ昭和十三年九月二十九日頃所屬
 部隊カ移動スルコトトナリタルヲ以テ被告人
 ハ炊事用携行品ノ整理ヲ爲シタルニ自己ノ
 不注意ニ依リ帳簿記載ノ數量ヲ超過スル
 調味品アルヲ発見シ其ノ處置ニ窮シ居タ
 ル折柄同年十月一日偶同隊炊事場ニ來合
 セタル右延吉新安區大和路十一牌二號居住
 ノ陸軍用達商人矢野勝カ之ヲ見テ購入シ

度旨申向ケタルヨリ被告人ハ之ヲ應諾シ即時
其ノ業務上保管ニ係ル官有ノ(一)砂糖五十斤
入袋十二袋(二)白紋油十八立入罐八個(三)醬
油十八立入樽二十個(四)味噌十五斤入樽二十五
個(五)ソーヌ十五立入罐四個ヲ代金合計二百
五十圓ニテ賣却シ以テ横領シタルモノナリ
右ノ事實ハ

一 被告人ノ當公廷ニ於ケル判示同趣旨ノ
供述

一 檢察官ノ深田亮一ニ對スル聽取書中被
告人ノ業務ニ付判示ニ照應スル供述記載
一 陸軍司法警察官作成ノ延吉憲兵分
隊長ヨリ歩兵第百八聯隊ニ宛テタル昭和
十四年二月十五日附事實調査方ノ件照會

ト題スル書面ノ謄本中近時延吉街内ノ商店ニ於テ陸軍糧秣ヲ賣却シ居ル事實ヲ發見シ調査ノ結果判示矢野勝カ之ヲ賣却シタルコト判明シタルヲ以テ更ニ同人ニ付取調ヘタルニ同人ハ歩兵第百八聯隊カ延吉ニ駐屯中同隊ノ炊事係軍曹田中某ヨリ金ニ百五十圓ニテ購入マル旨申立ツルニ依リ右ハ事實ナリヤ否ヤ調査相成度トノ旨ノ記載

ヲ綜合考覈シテ之ヲ認定ス
法律ニ照スニ被告人ノ判示所爲ハ刑法第二百五十三條ニ該當スルヲ以テ其ノ所定期刑範圍内ニ於テ被告人ヲ懲役六月ニ處スヘク尚本件犯行ノ動機ハ被告人ノ不注意ニ

依リ生シタル員數外物品ノ處置ニ窮シ居タル折柄偶御用商人ノ誘惑ヲ受ケタルニ因ルモノニシテ同情スヘキモノ無キニ非ルノミナラズ被告人カ犯行後前非ヲ深ク悔悟シ其ノ受領セル賣却代金貳百五拾圓ハ費消スルコトナク其ノ儘上司ニ提出返還マル点被告人ノ性質温順ニシテ軍隊内ニ於ケル勤務成績亦優良ナル点等ヲ綜合スルトキハ被告人ニ對シテハ書ク實刑ヲ課マサルヲ適當ト認メラルルヲ以テ刑法第二十五條ニ則リ二年間右刑ノ執行ヲ猶豫スヘキモノトス
仍テ主文ノ如ク判決ス

昭和十四年四月七日

第二十一軍軍法會議

0011

裁判官	判士	陸軍砲兵中佐	中村從吉
裁判官	陸軍法務官	熊田貞之	
裁判官	判士	陸軍工兵大尉	佐藤 豪

(大阪・上田納)